

登録コード	L2964800	開講年度	2026				
担当教員	人文学部国際交流委員会			副担当	鎌田 隆行・伊藤 尽・磯部 美穂		
授業科目	海外短期研修						
英文授業名	Short-Term Study Abroad in Humanities						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生	1～4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室			遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】				海外研修とその事前学習および帰国報告会を通して、思索力、受容力、批判力を養う。		
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】				海外研修とその事前学習及び帰国報告会を通して、メディアリテラシー、コミュニケーションリテラシー、外国語能力を養う。		
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】				海外研修とその事前学習及び帰国報告会を通して、開拓力、企画発想能力を養う。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	この授業は、原則として人文学部の教員が企画する海外短期研修プログラム（現地学修時間45時間以上／学生の個人的渡航は対象としない／オンライン研修企画も対象に含む）に事前学習を含めて参加し、留学の目的と事前準備を行い、帰国後の報告会において自ら学んだことを相対化、客体化しながら報告するものである。明確な目的意識を持ちながら、それぞれ派遣先の文化、歴史、芸術に触れることで、専門性の高い人文知を深めることが期待される。また帰国後の報告会においては、他地域派遣の履修生の報告にコメントを加え、討議を行うことで海外経験の多様性・多元性についても学ぶこととなる。						
授業計画	1) オリエンテーション 2) 事前学習：派遣先地域の概略（1） 3) 事前学習：派遣先地域の概略（2） 4) 事前学習：派遣先教育機関の概略（1） 5) 事前学習：派遣先教育機関の概略（2） 6) 事前学習：留学にかかわるレクチャー（1） 7) 事前学習：留学にかかわるレクチャー（2） 8) 事前学習：留学にかかわるレクチャー（3） 9) 事前学習：留学にかかわるレクチャー（4） 10) 帰国後報告準備（1）：事後指導オリエンテーション 11) 帰国後報告準備（2）：予備報告会 12) 帰国後報告準備（3）：報告内容のブラッシュアップ 13) 帰国後報告会（1）当人の報告 14) 帰国後報告会（2）他地域派遣者の報告へのコメント 15) 総論/レポート作成 授業アンケート						
成績評価の方法	派遣先における研修内容を証明する書類および報告会におけるプレゼンテーションとレポートを総合して、単位認定の可否を判断する。						
成績評価の基準	評価は、秀・優・良・可・不可ではなく、留学先での研修内容を証明する書類が提出され、報告会におけるプレゼンテーションが一定水準に達していれば【合格】（単位認定）とする。						
事前事後学習の内容	関連する文献・ウェブサイト等を注意深く読み込むこと。						
履修上の注意	この授業への登録は、それぞれの海外短期研修を企画した教員の承認、あるいは休学中の留学を認めた指導教官の承認を経て認められる。履修登録は、キャンパス情報システムではなく、学務係に提出された登録申請をもとに行う。 4月から5月にかけて研修先ごとに海外短期研修プログラムの説明会（オリエンテーション）が行われる予定であり、年度初めに掲示やメール等で連絡するので、参加希望者は日程を確認しかならず出席すること。						
質問、相談への対応	研修企画担当者および学務係にメールなどで相談すること。						
教科書	使用しない。						
参考書	その都度紹介する。						